

あざみふれあい喫茶

平成14年(2002)、ふれあいの場づくりをしたいという思いからボランティアグループが立ち上げました。あざみふれあい館で毎月4日曜日に開かれています。スタッフみんながボランティアで、10数名が活動しています。

行った日

etc



あそ の さんしょうがくじ 筋野山正覚寺

天台宗のお寺で、阿彌陀如来がまつられています。『飾磨郡誌』という本に、長保4年(1002)、性空上人が開いたと書かれています。はじめは堂山の上にはありましたが火事で焼けてしまい平地に移され、その後、今の場所に移ったと伝えられています。

行った日



あそ の 筋野ひだまり広場(県民交流広場)

地域の交流を目的に、平成19年(2007)からとくら公民館で開かれています。地域に住む人たちがお互い仲よくしながら、いろいろなことを学び、健康にも気をつけ、生きがいや助け合いの心、みんなが安心してらせる地域をつくっていくようにするために開かれています。

行った日

etc



いちじょうさんえんみょうじ 一乗山圓明寺

天台宗のお寺で、薬師如来がまつられています。天禄元年(970)に性空上人が開いたと伝えられています。今の場所から600mほど北東の方向の筋野谷のやまの上にはありましたが、その後、一心上人が建て直し、仏教を勉強する場所になり播磨教育学院となりました。大正12年(1923)に今の場所に移されました。

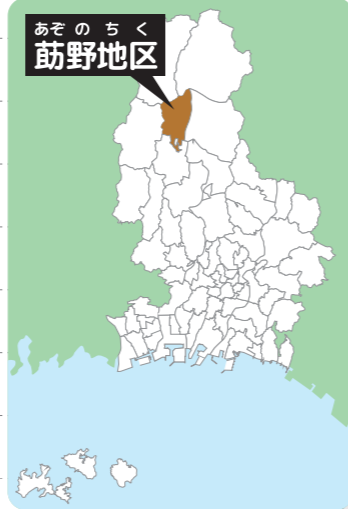
行った日



かみのもとじんじや 神元神社

第21代雄略天皇の時代につくられたと伝えられています。伊邪那岐尊・伊邪那美尊・国常立命がまつられています。川内明神・神元大明神・神元三社大明神ともよばれていました。隨身門は脚が8本ある八足門で、本殿と一緒に文化元年(1804)に建て直されました。

行った日

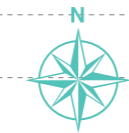


あそ の ち く 67 筋野地区

お寺や神社がたくさんある地区ですね。若一神社の境内農村舞台では農業の神さまのために、歌や舞、演劇が行われていました。どんな様子で行われていたのかしら調べてみましょう。



調べたこと、
分かったことを
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 伝説行事
- 伝統芸術 など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- 町並み
- etc その他



0m 500m 1km

じゃくいちじんじや 若一神社

野畑村の守り神でしたが、野畑が神元神社の村と一緒になるとは、神元神社を奥の宮、若一神社を口の宮とよび、神元神社と縁の深い神社となりました。

行った日



じゃくいちじんじやけいだい のうせんぶたい 若一神社境内 農村舞台

農村では、作物のとれる量は天気や災害によって変わることが多かったため、農業の神さまにゆっくり休んでもらい、豊作になるよう村人が歌や舞、演劇を行う場所として建てられました。また、その当時の農民の一番の楽しみでもあったようです。

行った日

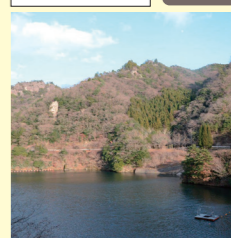


すごう 菅生ダム

菅生川の支流で明神山のふもとにあります。昭和40年(1965)、水害によって菅生川沿いの地域が大きな被害を受けたため、水をためるために昭和49年(1974)にダムの建設が始まり、昭和53年(1978)に完成しました。新緑や紅葉のころの景色はたいへん美しいものです。

行った日

etc



みずおさんふだらくじ 水尾山補陀落寺

性空上人が開いた天台宗のお寺です。性空上人みずから十一面観音を掘って、本堂にまつたと伝えられています。天禄2年(971)、お寺の名前を補陀落寺としたといわれています。観音堂は、県の文化財に指定されています。水尾山の周り全体は、県の自然環境保全地区に指定されています。

行った日



よつじどうびょう 四辻道標

道標には「右 ひめじ 左 京道」と彫られています。因幡(今の鳥取県)、美作(今の岡山県)から大坂、京都へ通じる道の途中に旅の安全を願って建てられたと思われる。時が経つとともに道路の様子が変わり、いつのころからか今の場所に移されたようです。

行った日

